

平成 27 年度 第 3 回日野市子ども・子育て支援会議

議事録要旨

出席委員 20 人中 18 人出席  
欠席委員 石川委員、原口委員  
日 時 平成 27 年 9 月 30 日（水） 18:30～20:30  
場 所 市役所 5 階 505 会議室

次 第

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 保育園に対する取り組み状況と利用者負担金（保育料）の見直しについて

(2) 市立幼稚園に対する取り組み状況と市立幼稚園保育料の見直しについて

(3) 学童クラブに対する取り組み状況と学童クラブ費の見直しについて

(4) 平成 27 年度から新たに実施している主な事業の報告について

(5) その他

4 閉会

〔配布資料〕

資料 1-1 日野市の保育園に対する取り組み状況について

資料 1-2 利用者負担金（保育料）の見直しについて

資料 2-1 市立幼稚園に対する取り組み状況について

資料 2-2 市立幼稚園保育料の見直しについて

資料 3-1 日野市の学童クラブに対する取り組み状況について

資料 3-2 学童クラブ費の見直しについて

資料 4-1 スーパーひのっち「なつひの」参加状況一覧

資料 4-2 スーパーひのっち「なつひの」に関するアンケート結果（児童）

資料 4-3 スーパーひのっち「なつひの」に関するアンケート結果（保護者）

資料 5 「ぽけっとなび」のチラシ

資料 6 「産前産後ケア事業」のチラシ

## 1. 開会

## 2. 会長あいさつ

定刻となりましたので、只今より平成27年度第3回日野市子ども・子育て支援会議を開催したいと思います。委員の皆様方には、本日はお忙しいところをお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

本日もよろしくお願ひします。はじめに、事務局から資料等の確認をお願いします。

## 3. 議事

事務局（子育て課長）

はじめに、本日の会議は、20人中18人の委員の皆様にご出席をいただいております。成立要件を満たしている委員を報告させていただきます。欠席のご連絡をいただいている委員：石川委員、原口委員

次に、本日の資料の確認をさせていただきます。

資料1-1 日野市の保育園に対する取り組み状況について

資料1-2 利用者負担金（保育料）の見直しについて

資料2-1 市立幼稚園に対する取り組み状況について

資料2-2 市立幼稚園保育料の見直しについて

資料3-1 日野市の学童クラブに対する取り組み状況について

資料3-2 学童クラブ費の見直しについて

資料4-1 スーパーひのっち「なつひの」参加状況一覧表

資料4-2 スーパーひのっち「なつひの」に関するアンケート結果について（児童）

資料4-3 スーパーひのっち「なつひの」に関するアンケート結果について（保護者）

資料5 「ぼけっとなび」のチラシ

資料6 「産前産後ケア事業」のチラシ

以上となっております。資料に不足等はございませんでしょうか。

### 説明

今回は、市の厳しい財政状況や行財政改革の取り組み、公共施設の老朽化の問題など当面の行政課題を踏まえ、保育園や幼稚園、学童クラブの各保育料等の現状について説明させていただきました。

委員からは、料金の見直しについて、もう少し前向きにとらえられるよう、これまで行政が取り組んできた実績を踏まえて、事業の必要性や継続性の観点から、料金の

見直しについて考えることの方が受け入れやすいとのご意見を頂戴しましたので、今回はそのような仕立ての資料とさせていただきます。

さて、料金の見直しのスケジュールでございますが、この支援会議でのご意見も踏まえながら、来月10月に開催されます、市民、学識経験者等から構成されます、市全体の手数料・使用料等検討委員会に諮りご審議いただく予定となっております。この検討委員会での審議を経まして、最終的には関連する条例等を整備し、来年4月から新料金を適用する運びとなります。

それでは、各所管部署から順次、説明させていただきます。

#### (1) 保育園に対する取り組み状況と利用者負担金（保育料）の見直しについて

##### 説明

- ・資料 1-1、1-2 の内容について説明。

##### 質疑応答

質問：保育料の見直しについて、保護者に説明する内容とスケジュールを教えてください。

回答：10月初めに本日の資料 1-2 と同様のものを入園している保護者宛に通知させていただきます。11月から来年度の入園のしおりが配布されるので、その本文に見直しの説明と 5%程度の値上げの一覧表を提示させていただきます。その後、12月議会を経て、翌年2月の入所決定通知には改定した金額をお示しさせていただきます。また、ホームページにも掲載する。

質問：前回の会議で提示された値上げ案を持ち帰り父母連で議論した。その結果を本日説明し参考にさせていただきたい。

会長：最後にまとめてご意見をいただく。

質問：資料1-2について、約5%の値上げの結果、約3,000万円の増収が見込まれるとある。また、今後5年間で650名の保育サービスの拡充を図るとあるが、実際に650名分の新しい保育園を建てるのか？

回答：今年4月からの5年間、650名で計画を策定している。

#### (2) 市立幼稚園に対する取り組み状況と市立幼稚園保育料の見直しについて

##### 説明

・資料 2-1、2-2 の内容について説明。

#### 質疑応答

質問：幼稚園5園の定員数は、資料2-1の2ページ目にある445人で現在の在籍児童数が334人。児童数の空きが111人であるので幼稚園1園を廃園するということだが、幼稚園1園を閉園して、4園になった場合の児童の定員数は？

回答：幼稚園1園を閉園にすることで、児童の定員数は390人となる。

質問：経過措置として、平成27年度入園児は卒園まで10,200円で据え置くということか？

回答：現在入園されている4歳児の方は、在園されている期間は、今までの利用料を引き継ぐこととなる。

質問：第5階層になることで市の収入はいくら増えるのか？

回答：新たに第5階層を設けることにより、約200万円の増収となる。また第2階層を下げることにより、約50万円の減収となり、実質約150万円の増収になると考えている。

質問：幼稚園1園を閉園することで、職員数は減員となるのか？

回答：現在、職員数に欠員があるため、臨時職員を配置し対応している状況にある。その欠員のある幼稚園に閉園となった職員を補充する。結果的には閉園となった分、職員の定員数は減員となる。

質問：第2階層の利用料が0円（無料）となった。しかし第3階層は利用料8,000円ということで、急に料金が高くなる。第3階層には低所得者の方もいる中で、もう少し緩やかな料金設定、又は階層設定ができないのか？

回答：国の示している階層、料金設定に準じることが求められているため、日野市独自の階層と料金設定を行うことは考えていない。

### (3) 学童クラブに対する取り組み状況と学童クラブ費の見直しについて

#### 説明

・資料 3-1、3-2 の内容について説明。

#### 質疑応答

質問：応能負担（所得に応じた利用料の設定）となっている市もある中、日野市は所得に応じた利用料の設定をしないのか？また所得に応じた利用料の設定をし

ている市では、どのくらいの料金の幅があるのか？

回答：応能負担という考え方もあるが、検討が必要と考える。手持ちの資料によると  
応能負担を実施している市の最高額は、9,000円とか7,500円とかである。

質問：学童クラブでは利用料が1,000円増えることにより、どのくらいの増収となる  
か？ また増収分は、このセクションで使っていくのか？

回答：1500万円から1800万円の増収を見込んでいる。現在、多摩平地域の児童数の  
増による施設整備を行っている。そういった地域による偏在はあるが、需要の  
高まりや老朽化等に対応するため環境整備を行っていく。

#### 質疑応答（全体を通じて）

質問：今回の会議では来年度の利用料見直しの説明をお伺いした。また前回は、今後  
各事業の支出が増えていくことも説明を受けた。例えば保育園では年間約3億  
円、支出が増えていく。今回の利用料改定は家計のことも考え、見直しにはこ  
の金額からが妥当なのではないかということだと考えるが、今後5年の中で、  
徐々に値上げしていくのか？今後、利用料の見直しをどのように考えるか？

回答：使用料はその時々々の財政状況、経済情勢を踏まえ、適正な金額を考えていくと  
いうこと。他市では、3年、5年ごとなど、その時々々に適正な金額を判断し改  
定をする時期が定められている例もある。今回の3事業の料金の見直しは、平  
成11年、12年以来のことである。厳しい財政状況の中、引き続き安定的にサ  
ービスを提供していくために、また今回新たな制度が始まり、今後5年の需要  
に対応していくために、これから環境整備もしなければならない。このタイミ  
ングで、見直しを15年ぶりにさせていただくということである。

今後の考え方は、定期的な利用料の見直しが必要と考える。ただし、利用料  
が上がるのか、下がるのかはその時々々の状況に応じた適正な額を判断すべき。

質問：今後の5年間の利用人数の上昇率を考えると、明らかに支出が多くなる。例え  
ば3年後には再度、利用料を高く見直すといったことも考えていないのか？

回答：この利用料の改定で大丈夫かと問われれば、まだまだ不足であるというのが正  
直なところ。保育園で50億円支出されているが、今回の利用料の改定によっ  
ての上昇分は3千万円から4千万である。ただし、この上昇分と市の一般財源  
も含めて、保育園の拡大に努めていく。

今回の保育園と幼稚園の利用料見直しは、各利用者の支払い能力に応じた負担額（応能負担）の適正化ということで、国の基準額の50%、及び26市の平均並みぐらいの保育料のご負担をお願いしたいということでの見直しである。これで今後5年間、保育園を整備するための財源が確保できるものではない。

(4) 平成27年度から新たに実施している主な事業の報告について

**説明**

・資料4-1、4-2、4-3の内容について説明。(スーパーひのっち)

**質疑応答**

質問：スーパーひのっちのスタッフからは、どのような意見があったのか？

回答：本日の資料にないが、スタッフの方にもアンケートを行った。その結果、当初懸念された従事時間の長さについて様々な意見があった。昼食時間を含む朝8時から夕方5時、4名体制で開催した。初めてのことで戸惑いもあったが、このスーパーひのちは必要かどうかの質問には、約60%が必要であるとの回答を頂いている。また来年度も実施した場合、スタッフとして従事して頂けるかの問いに約75%の方が協力したいとの回答を頂いている。

質問：スタッフは、どのような方が従事しているのか？

回答：学校によって様々であるが、児童の保護者や地域のご高齢の方が中心である。

質問：なぜ、今年は4校の開催となったのか？

回答：まずは、なぜ夏休みのひのっちを開催したかということ、今年でひのっちを開催して9年目になる。始めた当初の3年間は夏休みも開催していたが、その時は利用者も少なく、ニーズがあまりなかった。昨年、改めて保護者にアンケートを行ったところ、夏休みの開催の回答が頻出して高い結果となった。これを踏まえ、まずは試行的に4校に限り夏休みひのっち（スーパーひのっち）を開催した。児童の参加数は先ほども説明したが、アンケート結果のとおりで多くの児童に利用していただいた。

質問：弁当を持って学童クラブに行っているはずなのに、ひのっちに参加していたということがあった。学童クラブは朝8時30分から開所し、ひのちは朝8時から開催している中で、ひのっちに参加した児童は学童クラブに受け入れることができない状況もあると聞いているので、せっかく夏休みのひのっち開催という

ことで良い事業を実施したとしても課題がある。また夏休みひのっちで遊んだ結果、9月からひのっちの友だちと遊ぶため学童クラブに行かないといった子もいる。学童クラブは出席日数が不足すると、退会しなければならない中で、保護者が働くことが難しくなる場合もある。子どもたちと保護者が迷わない方法をひのっちと学童クラブで検討すべきである。

回答：そういったご意見を他にもいただいている。子どもたちはひのっちや学童クラブを簡単には割り切れない。仲の良い友だちのいる方へ行く状況もある。ご意見として受け止める。

質問：ひのっちは朝8時から開催だが、学童クラブは朝8時30分からの開所である。働く保護者にとって夏休みの学童クラブが8時30分からの開所では困ると聞いている。学童クラブを朝8時から開所できないか？

回答：学童クラブの朝8時からの開所については、予めからご要望として頂き、課題として認識している。今回、ひのっちを朝8時から開催した。実際に学童クラブで実施したのではないが、ひのっちには朝8時から多くの児童が来ている現状を考えるとやはりニーズは高いと考える。

意見：働く女性たちにとって夏休みに子どもをどのように過ごさせるべきか悩んでいる。夏休みの子たちの居場所について、十分な支援ができるような企画を考えてほしい。

質問：私の子どもの小学校でも夏休みのひのっちがあったら、相当、利用させていただいたと考える。大変、積極的な取り組みをしていると思う。また、スーパーひのっちのアンケートでは意見を丁寧にまとめているので、大変参考になった。このスーパーひのっちについての開催概要をご教授いただきたい。

回答：市の事業として継続的に実施していくために有償ボランティアとして謝金をお支払いしている。また、スタッフの配置は1校4名、午前、午後のシフト制。その中には当日のリーダーに加えてコーディネーターという調整役を配置し、実質、5名で実施した。活動場所は夏の暑い時期であったため、基本は教室内で休憩時間を随時取りながら実施。結果的には前半の7月は猛暑の日が続き、あまり外に行かず室内で過ごした。体育館は熱中症が懸念されたので使用しなかった。開設期間は学校プールや補習授業等の開催日に合わせ、児童が学校に来る機会に開催するよう設定した。

質問：保護者のスタッフは PTA を通じて募集したのか？

回答：今回従事したスタッフは、既にパートナーとして通常のひのっちで従事されている方で大部分であった。一部の学校で PTA にご協力いただいたところもあったが基本は日常的にひのっちに従事されている方にご協力いただいた。

質問：スーパーひのっちが始まる時に、とても複雑な思いがあった。それは仕事をしていなくても子どもを参加させることができるのはどうなのかと思っていた。実際にスーパーひのっちも見に行った。家で親子が居ても常に楽しいといったことはない。学校で子どもが友だちととても楽しそうにしている様子を見ると、スーパーひのっちも子どもの居場所の一つであると考えようになった。そこで、今年 4 校で実施したスーパーひのっちを、来年度以降は市としてどうしたいのか、見通しを伺いたい。

回答：まず来年の見通しですが、今回 4 校で実施した中で課題を整理している。それを踏まえ、実施にあたって必要となるスタッフ体制やその他の運営面でモデルを構築し、そうした条件に適したところから実施していきたいと考えている。特にスタッフの面では、地域の多くの方にご協力をいただきたい。また、ひのっちと学童クラブは本質が異なる。学童クラブは今まで拡充をしながら入会基準を満たした上で入会を希望する方を受け入れてきた結果、すべての方が入会できた状況にある。今後もニーズを踏まえた上で拡充を図っていく。一方で、ひのっちも 9 年目を迎え、さらに充実を図っていく。子どもたちが健全に育っていく上で、放課後は重要なウエイトを占める子どもたちにとっては、放課後に多様な居場所が必要であると考え。今後は児童館も含め各事業をさらに充実していく。

#### 説明

・資料 5、6 の内容について説明。（ぼけっとなび、産前産後ケア事業）

#### 質疑応答

質問：日本では出産の際に親が来たり、里帰り出産することで、妊婦の産前産後のケアを親が補うことが当たり前となっている。しかし親を頼ることができない方も多い中で、この事業のニーズはあると考える。回数6回とあるが、さらに回数を増やすことは考えているか？

回答：利用状況によって、今後検討させていただく。

#### 質疑応答（保育園）

意見：前回の会議で提示された値上げ案を持ち帰り父母連でグループ討議した。各グループからいただいたご意見を本日説明し参考にさせていただきたい。

全体の意見として、

- ・他市と比較して保育料が低いので、概ね保育料の値上げはしかたない。
- ・ただし、支払い能力のある方から徴収してほしい。

個別の意見として、

- ・3歳児未満の保育料は今も高い。3歳児以上児の保育料を値上げしてほしい。
- ・認可と認可外保育園の保育料に大きな格差があるので考慮してほしい。
- ・現在、無料である第三子以上の保育料については、徴収すべき、又は今のまま無料とすべきとの二つの意見に分かれた。
- ・保育料の使い道を保護者が詳細に分かるようにしてほしい。
- ・保育料の値上げに対し、他市の詳細な状況（3歳児未満と3歳児以上、第三子以降、認可・認可外などの保育料）を資料として確認し納得したい。
- ・男性保育士を配置してほしいといった父母連からの要求に対しての保育料の値上げであればしかたない。

意見：民間保育園の保育料は公立保育園と比較し高いといった間違った意見がある。

保育料を値上げする際には、公立、民間が同じ保育料であることを宣伝してほしい。

#### 質疑応答（幼稚園）

質問：市立と私立幼稚園の料金では、補助金を除く保護者負担でどのくらいの差があるのか？

回答：前回の支援会議の資料を参考に説明。第1階層は市立、私立で同じ。第2階層：市立 3,000 円、私立 0 円（無料）。第3階層：市立 8,000 円、私立 6,800 円。第4階層：市立 10,200 円、私立 12,200 円。第5階層：市立 10,200 円、私立 18,500 円。また保護者補助金の関係で私立幼稚園は、第6階層：20,900 円がある。つまり、所得の高い世帯では、私立幼稚園と比較し市立幼稚園の方が保護者負担は低い傾向にある。

#### 質疑応答（学童クラブ）

意見：夏休みの学童クラブの始まる時間が 8 時 30 分。8 時 30 分になるまでの時間の

約 30 分が子どもたちにとって、危なく非常に不安と学童クラブの職員から聞いている。また学童クラブの職員として自分たちは出勤が 8 時 30 分だから何もできないとも聞いている。ただ、学童クラブの開所を 8 時とすれば職員にとっても負担となるので簡単なことではないが、特に低学年の子どもたちの安全に配慮することが課題である。

#### 質疑応答（ひのっち）

報告：仲田の森で、毎週金曜日や土曜日に誰でも参加できる遊び場を設け活動している。子どもたちの放課後の居場所にもなっている。私たちも初めて夏休み（8月上旬の木曜日、金曜日、土曜日）に開催したところ、木曜日、金曜日のニーズが非常に高かった。夏休みであっても平日の安心できる居場所はニーズが高いと感じた。本日の話を伺うととても課題も多いが、子育て課長が述べていた子どもたちの多様な居場所をいかにつくるかがとても大事な課題と考える。私たちもその思いでやっているの、様々なところで連携していきたい。

#### （5）その他

次回の日程 11月27日（金）午後6時30分～午後8時30分

会場 市役所5階505会議室